

—がんとの共生社会を目指して—

「企業の対策最前線とこれからの働き方」

2人に1人ががんになる時代。がんは、治療やその後の検査を受けながら「付き合っていく病」に変わりつつあります。日本は、少子高齢化が進み、定年延長で長期間働く人がさらに増え、また女性の社会進出も進んでいく中、益々、がんとともに働き、生きていける社会を作っていくことが必要とされています。患者にとって治療と仕事の両立は大きな課題であり、企業にとってもがんの早期発見・就労支援は、健康経営や働き方改革、そしてダイバーシティ推進をしていく上でも重要なテーマです。働く患者の声、企業のがん対策の具体事例や、取り組む際の課題を共有しながら、共生社会を創るための企業の次のステップとこれからの働き方を議論し、提案していきます。



2019年 **2月4日**(月) (開場12:30) 13:00~16:00

有楽町朝日ホール
東京都千代田区有楽町2-5-1有楽町マリオン11F

PROGRAM

13:00~13:05 主催者あいさつ

基調講演

13:05~13:25

「見えてきた企業がん就労対策、乗り越えるべき3つの壁」

講師 高橋 都氏 (国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援部長)



講演

13:25~13:45

「ステージ4でも治療と仕事を3年間両立できている理由」

講師 御園生 泰明氏 (株式会社電通 第21ビジネスプロデュース局
ビジネスプロデュース部 部長/LAVENDER RING 発起人)



企業事例
リレープレゼン
13:45~14:15

「企業がん対策最前線」

講師 ※ お一人10分ずつのプレゼンとなります。

櫻井 公恵氏 (株式会社櫻井謙二商店 代表取締役社長)

竹田 敬治氏 (テルモ株式会社 人事部長)

藤田 直志氏 (日本航空株式会社 代表取締役副社長執行役員 健康経営責任者)



櫻井 公恵氏



竹田 敬治氏



藤田 直志氏

(五十音順)

休憩 14:15~14:30

パネル
ディスカッション
14:30~16:00

「がんとの共生社会を目指して」

講師 櫻井 公恵氏 (株式会社櫻井謙二商店 代表取締役社長)

高橋 都氏 (国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策情報センター がんサバイバーシップ支援部長)

竹田 敬治氏 (テルモ株式会社 人事部長)

藤田 直志氏 (日本航空株式会社 代表取締役副社長 執行役員)

御園生 泰明氏 (株式会社電通 第21ビジネスプロデュース局
ビジネスプロデュース部 部長/LAVENDER RING 発起人)

(五十音順)

コーディネーター: 上野 創 (朝日新聞社 東京本社 社会部教育チーム記者)

詳細・申し込み方法は裏面へ

140 ともに考え、ともにつくる
朝日新聞

主催: 公益財団法人 日本対がん協会、株式会社 朝日新聞社
後援: ザ・ハフィントン・ポスト・ジャパン株式会社、厚生労働省、経済産業省

協賛: テルモ株式会社、株式会社ポーラ

協力: アフラック生命保険株式会社、ジェノミックヘルス株式会社